

7月22日

帯広信金上士幌支店がテレビを寄贈



帯広信用金庫上士幌支店（田中英行支店長）は、教育施設充実のため、町に液晶カラーテレビ1台を寄贈されました。
寄贈されたテレビは、上士幌小学校で活用させていただきます。

7月23日

保育所で親子バス見学



上士幌保育所の5歳児親子を対象としたバス見学が行われ、子どもと保護者約60名が参加しました。

この日の見学ではバス2台に分乗してリサイクル業の大山古物商店と十勝しんむら牧場を見学。最初に訪れた大山古物商店では資源ゴミのリサイクルについての学習が行われ、集められたアルミ缶をプレス機で圧縮するデモンストレーションが行われると「おおー」と驚きの声が上がっていました。

十勝しんむら牧場では牛を見学した後、バター作りに挑戦し、その後昼食を楽しみました。

7月24日

建設業二世会に感謝状



町民運動広場少年野球場のベンチ2台を修繕された上士幌建設業二世会（嘉藤優樹会長）にこのほど、馬場教育長より感謝状が贈られました。
同会は地域貢献活動の一環として毎年ボランティア活動をされており、今年は老朽化が著しかったベンチを快適に利用できるよう、板を交換して綺麗に塗装してくださいました。

7月27日

夏のぬかびらで昆虫採集を満喫



ぬかびら源泉郷で7月27日～8月4日にかけて「ひがし大雪むしむしWE EK」（ひがし大雪自然館運営協議会主催）が開催されました。

初日は「昆虫採集と標本作り」に13名が参加し、ぬかびら源泉郷の森の中で昆虫採集を行なった後、ひがし大雪自然館で捕まえた蝶やトンボの標本作りに挑戦しました。

音更から家族4人で参加した男性は「昆虫採集では川辺にも足を運んだりして楽しかったです。子ども

7月27日（土）にスポーツセンターにおいて、プロバスケットボール選手であるレバング北海道の野口大介選手、種市幸祐選手を招き、バスケットボールクリニックが開催されました。

町内の中高生が参加し、両選手から熱心な指導を受けながら技術を磨きました。

7・8月の まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ☞ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

ものためにと参加しましたが、大人も楽しめるいい企画ですね。」と話されていました。

第2回子ども夏まつり



「第2回子ども夏まつり」(上士幌町少年会育成委員連絡協議会主催)がふれあい公園で開催されました。

今年はラムネ飲み競争や魚つかみ取り、プールの上を自転車で渡る「自転車一本橋」などのゲームが行われ、会場は大盛り上がりしていました。

7月29日

7年ぶりにサッカー十勝選抜へ



7月31日～8月3日に札幌で開催された「第25回コープさっぽろ杯サッカースポーツ少年大会」にとかち・帯広FCの代表として参加した川村凌叶君(上小学6年)が、出場を前に教育委員会を表敬訪問しました。

7年ぶりに本町から選抜チームに参加した川村君は「十勝選抜は全国のチームの中でも強いということとを証明したいと思います。」と馬場教育長に健闘を誓いました。

8月2日

高校生と山の幸染め作りを体験



ふれあいプラザで開催された元気びんぴん教室で、上士幌高校家庭部が「山の幸染め」手づくり教室を開きました。

今回の教室は上高家庭部が企画したもので、生徒14名が講師となり、高齢者の方々と一緒に山の幸染めのハンカチ作りを行いました。

参加者からは「こんな楽しいことができて、元気がいっぱい教室に参加して良かった。」などの感想が聞かれ、大変好評でした。

8月4日

第3回ナイト高原マウンテンサイクリング



第3回上士幌町ナイト高原マウンテンサイクリングが快晴のもと開催され、町内外より59名が参加しました。

走行距離7km、標高差約400mのヒルクライムレース。ゴールした選手たちは、皆すがすがしい表情を浮かべていました。

平成25年度かみっ子ふるさと体感塾

7月29日(月)～31日(水)

ふるさと防災キャンプ

「ふるさと防災キャンプ」が上士幌町航空公園で開催され、町内の小学3～6年生34名が参加しました。

今年は上士幌消防署の協力のもと、各種の防災学習を交えながら2泊3日のキャンプ生活を満喫しました。



▲消防士による防災学習



▲毛布を使って即席担架作り



▲2組に分かれてバケツリレー競争

地域を変えてく新しいカ

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 現在のふれあい公園の様子を紹介します!

記: 社会教育推進員 内田 裕太



みなさん、こんにちは。この町に来て1年が経過しました。社会教育事業に参加・協力いただいている方や生涯学習センターの利用者の方を始め、みなさんには本当に感謝しています。

さて、昨年度からふれあい公園にて遊具の貸出を行っております。今年度も5月28日(火)から10月31日(木)までふれあい公園にて遊具の貸出や大人の憩いの場・休憩の場としてテーブルやイスを設置して子どもの居場所づくり推進事業を行っています。

遊具の種類は、ドッチビー・なわとび・長なわ・フラフープ・竹馬・簡単に設営できるテントなど貸し出しています。また、ふれあい公園に隣接している駐車場へ飛び出さないようフェンスの設置をしましたので、安心してふれあい公園で遊具を利用してください。

天気の良い日にイスに座って本を読んだり、子どもが遊具で遊んでいる様子を見ながら一日をゆったり過ごしてみたいかがでしょうか。



▲ふれあい公園の様子

まちのわだい

ニペソツ山に登ってきました!



8月3日(土)、竹中町長や広報担当職員を含むパーティーでニペソツ山登山を行いました。

朝6時40分に登山口の杉沢出合を出発後、軍艦山や糠平湖を遠目に見下ろしつつ9時40分に前天狗へ到着。そこから更に高低差130mの急峻な難所などを越え、11時45分、ついに登頂しました。山頂では多くの登山客が眼下の眺望を楽しんでいました。

標高年の今年にはひがし大雪自然館で登山証明書の発行を行なっています。詳しくは同館までお問い合わせください。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲バルーンフェスティバルに参加した北陵高校バルーン部の部員たち

校熱気球部と交流しました。

「上士幌に来るのは初めてで、自然がとても多かったです。」と上士幌について語るのは佐賀北陵高校バルーン部部長の鷲崎大希さん。「上士幌は高い建物がなくてとても飛びやすかったです。自分の高校に比べて上士幌高校の熱気球部はとてきばき動きレベルが高く、見習いたいです。佐賀では夏は梅雨で気球を飛ばせないで、上士幌は過ごしやすかったです。上士幌には美味しいものが多く、自分が食べた中では豚丼とハーブ牛が美味しかったです。」と上士幌のバルーンフェスティバルを満喫していました。

8月8日(木)から11日(日)にかけて、上士幌町航空公園でバルーンフェスティバルが開催されました。今年は40周年ということで今まで以上の盛り上がりを見せ、例年は3日のバルーンフェスティバルも今年は4日間行なわれました。

また大会には全国で2つあるうちの1つ、佐賀県北陵高校バルーン部も参加し、上士幌高

8月8日(木)～11日(日)
バルーンフェスティバル

大空に、夢を乗せて

文責 佐藤一翔

喜

平成25年7月末現在の人口

男 2,461人(先月比-5)
 女 2,586人(先月比-8)
 計 5,047人(先月比-1.3)
 世帯数 2,360世帯(先月比-2)

寄付

▶帯広信用金庫上士幌支店は、7月22日に教育施設充実のため液晶カラーテレビ1台を寄付されました。

▶4区の塚田八代子さんは、8月1日に町の振興資金として金10万円を寄付されました。

▶1区の山中美津子さんは、町の振興資金として8月5日に金5万円を、8月9日に金45万円を寄付されました。

ふるさと納税

▶各・金1万円…武者和夫さん(千葉県)、本間尚さん(東京都)、篠田勉さん(東京都)、吉永秀章さん(東京都)、八木章夫さん(神奈川県)、八木タツさん(神奈川県)、宮原孝和さん(岡山県)、足立琢哉さん(帯広市)、山田勝雄さん(愛知県)、岡本秀毅さん(神奈川県)、高橋敬一さん(札幌市)、佐藤裕さん(岩手県)、松島修さん(埼玉県)、田代典之さん(東京都)、緒方大助さん(大阪府)、清川高臣さん(愛知県)、後藤大輔さん(福岡県)、矢留英寿さん(札幌市)、平木嘉幸さん(鹿児島県)、奥村啓子さん(愛知県)、山口尚哉さん(釧路市)、山中仁さん(札幌市)、小平滋さん(東京都)、大野智子さん(愛知県)、馬場浩一さん(大阪府)、脇田安祥さん(愛知県)、高緑健二さん(神奈川県)、澤畔久雄さん(神奈川県)

▶各・金2万円…本間加代さん(千葉県)、西端和哉さん(和歌山県)

▶金3万円…中野賢司さん(兵庫県)

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

町民文芸

川柳

秋まつり出店にぎわす親子連れ
 ごみ袋きょうも元気で配達し
 秋深し夜道に響く虫の声
 ジグゾーがうまくはまってるうれしいな
 突然の雨にイベント狂わされ
 夏の夜ドカンと花火打ち上げる
 秋まつり豊作祝う笛太鼓
 残暑にも打ち水昔なつかしい
 ターゲット目差し舞い飛ぶ熱気球
 浮雲に乗り換えのんびり生きて行く

短歌

福島のを里を追われし姪一家仙台よりの蒲鉾送り来
 指先に万年筆より漏れし液沁みて二通の手紙書き上ぐ
 今朝の庭シヤクナゲの花二輪咲くユスラ梅の実たわわみのりて
 雨上がり夫の車押し庭めぐるあじさいの花藍色ふかし
 こころ澄めば真夜を時のきざむ音ひびきて独りの刻すぎゆくも
 西陽受けまぶしきまでに白飯をむさぼる雀を見守りるたり
 本間 梨風
 高木 慶子
 石川 裕子

白坂 桜 小 薮 米 高 米 小 鈴
 石 田 池 根 森 木 森 松 木
 い 花 由 博 誠 真 義
 さ 子 希 守 樹 也 弓 美 豊
 馨 子 絵 子 守 樹 也 弓 美 豊



紙第40回北海道パルーンフェスティバルが無事終了しました。紙最終日にはオフィシャル気球から市街地を撮影したのですが、整然と並ぶ建物や真っ直ぐ伸びる道路、所々に見える緑の美しさに感激してしまいました。(上士幌の町並みの良さを再認識・・・Y) 紙パルーンフェスティバル、盆踊り大会が終わると、一気に秋に向います。紙私は夏バテをすることもなく、食欲の秋を迎えるのですが、さらに巨大化してしまうのでは…と娘も心配しています。冬になる前に動かなきゃ…来週月曜日から…いや、9月からにしよう…でも、雨降るんだよな…。(とりあえず、1カ月がんばってみる!?!・・・K)

広報がみしほろ 10月号は9月25日(水)発行予定